学校番号	204

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーション Ⅰ	3	1	・Vivid English Communication Ⅰ ・クラウンチャンクで英単語 Basic 第２版 ・Tetra 1 ４技能対応総合問題集

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

身近な話題を中心とした英語の文章を題材に、聞くこと，読むこと，話すこと［やり取り］，話すこと［発表］，書くことの五つの力をつけることを目標とした授業です。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・事物に関する簡単な紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・基本的な英文を１文聞き取ったあと、リピートすることができる。 ・日常生活で使う簡単な指示や説明を理解することができる。	・簡単な内容で書かれた説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・日常生活で使う基本的な事柄について書かれたものを読み、理解することができる。 ・日常的に必要な事柄について決まった表現や形式を用いて質問や回答ができる。	・ごく身近なトピックについて、事前に学習した簡単な語句や表現を活用しながら、発話や意見交換をすることができる。 ・相手の話す内容が理解できない場合に、必要に応じて、聞き返したり意味を確認したりすることができる。 ・英語の音声的な特徴を意識しながら会話をやり取りすることができる。	・事前に準備した上で、決まった表現や形式を用いて自分や他人のことを紹介することができる ・日常的に必要な事柄について基本的な語や表現を使って伝えることができる。 ・事前に準備すれば、身近な話題についての考えや意見を簡単な表現を使って短く話すことができる。	・事前に準備をすれば、ごく身近なトピックについて、簡単な語句や文を用いて書くことができる。 ・自分についての基本的な情報を、簡単な語句や文を用いて表現することができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・英語の音声や語彙、表現、文法、文構造などの理解を深めると同時に、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションの場面において、それらの知識を目的や状況に応じて適切に活用する技能を身に付ける。	・日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えの概要や要点、また話し手や書き手の意図などを英語で適切に理解するために必要な思考力、判断力、表現力などを身に付ける。	・英語コミュニケーションに必要な知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力などを身に付けたりすることに向けた取り組みの中で、主体的に自らの学習姿勢を調整しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	Lesson 1～2 “The Symbol of a New Era” & “I Was Drinking Chocolate!”	聞くこと	a: 音声上の区切りを理解し，その知識を活用して、題材について，意味のまとまりごとに聞く技能を身に付けている。 b: 題材について、必要な情報を聞き取っている。 c: 題材について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	聞き取り評価 課題提出
		読むこと	a: 文法事項（現在・過去・未来，助動詞・進行形，不定詞，動名詞）や日英の語順の違いを理解し，その知識を活用して，題材を読み取る技能を身に付けている。 b: 題材の概要や書き手の意図を捉えている。 c: 書き手の意図を念頭に，主体的・自律的に題材内容を読み取ろうとしている。	定期考査 授業での取り組み
		話すこと （やり取り）	a: 英語の時制のルールを理解して、自分の習慣、思い出、予定等について３文程度の英文で伝える技能を身につけている。 b: ジェスチャーや表情、相槌をうまく用いて、会話をすることができる。 c: ジェスチャーや表情、相槌をうまく用いて、会話しようとしている。	発話評価
		書くこと	a: 各レッスンで学習した文法事項（英語の時制、助動詞、不定詞）の形式や意味、使い方を理解し,その知識を活用して文章を書く技能を身に付けている。 b: 題材の内容について、提示されたキーワードを参照して、要約することができる。 c: 題材の内容について、提示されたキーワードを参照して、要約しようとしている。	課題提出 定期考査
	中間考査			
	Lesson 3～4 “Welcome to the World of Hospital Art” & “Esports’ Time Has Arrived”	聞くこと	a: 英語の音の変化（つながる音，変わる音，消える音，弱くなる音）を理解し，その知識を活用して，題材内容を聞く技能を身に付けている。 b: 題材について、必要な情報を聞き取っている。 c: 題材について必要な情報を聞き取ろうとしている。	聞き取り評価 課題提出
		読むこと	a: 文法事項（S＋V＋0（＝that-節），現在完了形，受け身，比較（比較級・最上級・原級），S＋V＋0＋to-不定詞)を理解し，その知識を活用して，題材内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 題材の概要や書き手の意図を捉えている。 c: 書き手の意図を念頭に，主体的・自律的に題材内容を読み取ろうとしている。	定期考査 授業での取り組み
		話すこと （やり取り）	a: 現在完了を用いて、行ったことのある場所、中学校の時から続けていること等について３文程度の英文で伝えることができる知識、技能を身につけている。 b: 英語の音の変化（つながる音，変わる音，消える音，弱くなる音）を意識して会話することができる。 c: 英語の音の変化（つながる音，変わる音，消える音，弱くなる音）を意識して会話しようとしている。	発話評価
		話すこと （発表）	a: ゲームのキャラクターを創作し、そのキャラクターを説明する文を、これまでに学習した文法事項を用いて、紹介することができる。 b: 意味上の区切りを意識し、英語のリズムとイントネーションに気をつけて発表ができる。 c: 意味上の区切りを意識し、英語のリズムとイントネーションに気をつけて発表がしようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 各レッスンで学習した文法事項（S＋V＋0（＝that-節），現在完了形，受け身，比較（比較級・最上級・原級），S＋V＋0＋to-不定詞）の形式や意味、使い方を理解し、その知識を活用して文章を書く技能を身に付けている。 b: 題材の内容について、提示されたキーワードを参照して、要約することができる。 c: 題材の内容について、提示されたキーワードを参照して、要約しようとしている。	課題提出 定期考査
	期末考査			

2学期	Lesson 5〜6 “Go Sustainable!” & “In this Corner of the World”	聞くこと	a: 言語の働き（説明、描写、提案）を理解し、その知識を活用して，題材内容を聞く技能を身に付けている。 b: 題材について、必要な情報を聞き取っている。 c: 題材について必要な情報を聞き取ろうとしている。	聞き取り評価 課題提出
		読むこと	a: 文法事項（分詞、It is (for A) to 〜、現在完了進行形、関係代名詞、疑問詞節）を理解し，その知識を活用して，題材内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 題材の概要や書き手の意図を捉えている。 c: 書き手の意図を念頭に，主体的・自律的に題材内容を読み取ろうとしている。	定期考査 授業での取り組み
		話すこと (やり取り)	a: ・it is to 〜を用いて、自分が大切だと思っていること ・関係代名詞を使用いて、好きな芸能人について をそれぞれ３文程度の英文で伝えることができる知識、技能を身につけている。 b: 相槌をうったり、聞きなおしたりすること等を用い、円滑なコミュニケーションを意識して、会話を続けることができる。 c: 相槌をうったり、聞き直したりすること等を用い、円滑なコミュニケーションを意識して、会話をしようとしている。	発話評価
		書くこと	a: 各レッスンで学習した文法事項（分詞、It is (for A) to 〜、現在完了進行形、関係代名詞、疑問詞節）の形式や意味、使い方を理解し、その知識を活用して文章を書く技能を身に付けている。 b: 題材の内容について、提示されたキーワードを参照して、要約することができる。 c: 題材の内容について、提示されたキーワードを参照して、要約しようとしている。	課題提出 定期考査
	中間考査			
	Lesson 7〜8 “Should Stores Stay Open for 24 Hours?” & “Our Future with Artificial Intelligence”	聞くこと	a: 言語の働き（質問、共感、驚き）を理解し、その知識を活用して，題材内容を聞く技能を身に付けている。 b: 題材について、必要な情報を聞き取っている。 c: 題材について必要な情報を聞き取ろうとしている。	聞き取り評価 課題提出
		読むこと	a: 文法事項（SVOO+(that 節)、助動詞＋受け身＋関係代名詞 what，過去完了、分詞構文、関係副詞）を理解し，その知識を活用して，題材内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 題材の概要や書き手の意図を捉えている。 c: 書き手の意図を念頭に，主体的・自律的に題材内容を読み取ろうとしている。	定期考査 授業での取り組み
		話すこと (やり取り)	a:・過去完了を用いて、自分がある時まで続けていたこと ・助動詞＋受け身を用いて、自分の身の回りで見ることのできる動物や植物について をそれぞれ 3 文程度の英文で伝えることができる知識、技能を身につけている。 b: 質問して話題を続けたり、共感の気持ちを伝えたりすること等を用い、円滑なコミュニケーションを意識して、会話を続けることができる。	発話評価
		話すこと (発表)	a: “What do you want to do with AI?” というトピックについて、ディスコースマーカーの知識を活用して、自分の意見を発表する技能を身に付けている。 b: 表情やジェスチャーを活用し、聞き手に理解を促すように，中断することなく，はっきりとした声で発表することができる。 c: 表情やジェスチャーを活用し、聞き手に理解を促すように，中断することなく，はっきりとした声で発表しようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a:ディスコースマーカの役割を理解し、その知識を活用して、自分の意見を書く技能が身についている。 b: 題材の内容について、提示されたキーワードを参照して、自分の意見を書くことができる。 c: 題材の内容について、提示されたキーワードを参照して、自分の意見を書こうとしている。	課題提出 定期考査
	期末考査			
3学期	Lesson 9	聞くこと	a: 主題文と支持文を理解し，その知識を活用して，題材内容を聞く技能を身に付けている。 b: 題材について、必要な情報を聞き取っている。	聞き取り評価 課題提出

3学期	“Our Future with Artificial Intelligence” Optional Lesson “A Retrieved Reformation”		c: 題材について必要な情報を聞き取ろうとしている。	
		読むこと	a: 文法事項（S+V+O+C、条件を表す if 節、仮定法過去）を理解し，その知識を活用して，題材内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 題材の概要や書き手の意図を捉えている。 c: 書き手の意図を念頭に，主体的・自律的に題材内容を読み取ろうとしている。	定期考査 授業での取り組み
		話すこと（やり取り）	a: 仮定法について理解し、その知識を活用して、仮定の話しについて、自分の意見を伝えあうための技能が身についている。 b: 学習した知識を活用して，自分が、題材の物語文の登場人物になったつもりで，読後の展開を話して伝え合っている。 c: 学習した知識を活用して，自分が題材の物語文の登場人物になったつもりで，読後の展開を話して伝え合おうとしている。	発話評価
		話すこと（発表）	a: 主題文と支持文を理解し，その知識を活用して，短いパラグラフを用いて、自分の意見を発表する技能が身についている。 b: 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的に自分自身の考えを話して伝えることができる。 c: 聞き手に配慮しながら，主体的・自律的に自分自身の考えを話して伝えようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 主題文と支持文を理解し，その知識を活用して，短いパラグラフを書くことができる技能を身に付けている。 b: 読み手が理解しやすいように、構成を工夫して、短いパラグラフを書くことができる。 c: 読み手が理解しやすいように、構成を工夫して、短いパラグラフを書こうとしている。	課題提出 定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度